

単純ヘルペスウイルスによる感染症

単純ヘルペスとは聞き慣れない言葉かもしれませんが。今回はこのウイルスによって引き起こされる病気を紹介します。

①ヘルペス性歯肉口内炎

ヘルペス性歯肉口内炎は、単純ヘルペスウイルスの初感染によっておこり、乳幼児に多く見られます。感染経路は、飛沫または接触感染で成人の口唇ヘルペスからうつることが多いと言われています。また、感染しても症状でない不顕性感染が多い(90%以上)とされています。

症状は発熱と口の中の変化で、40℃以上の高熱が続くことがあります。口の周りの水疱と、口内炎と歯ぐきの発赤や腫れが特徴で、歯磨きによって容易に出血します。乳児幼児では口の痛みや発熱の持続で、哺乳や水分の摂取量が減少し、脱水を起すこともあるため注意が必要です。

ウイルスの活動を抑える薬(抗ウイルス剤:アシクロビルなど)の内服が治療の中心で、ウイルス感染には珍しく薬の効果が期待できる病気のひとつです。しかし、一度できた口内炎の痛みには効果が無く、場合に

よっては痛み止めを使うこともあります。日常の対応がとても重要です。無理に授乳や離乳食を与えると痛みのため警戒して口を開かなくなってしまういます。対応の基本は食べ物を無理やり与えないこと、酸っぱいものしよっぱいものなど滲みて痛がるものを避けることです。当量は水分の補給を第一と考え、飲みやすいものや痛みを緩和する冷たいものを与えるようにしましょう。ミルクも普段より少しゆるめにするとう効果があ

②口唇ヘルペス

口唇ヘルペスは、以前に感染した単純ヘルペスによっておこるもので、神経細胞に潜んでいたウイルスが活発化することが原因です。カゼや発熱で多くみられるため、別名カゼの華、熱の華と呼ばれることもありますが、その他の誘因としては、疲労、紫外線、ストレスや薬剤などがあり、体の抵抗力や免疫機能が低下することが関係するとされています。一度、ただけでなく、誘因によって何度も再発をすることも特徴です。幼児期には少なく、学童から成人にかけて多くみ

られる病気です。唇の一部にピリピリ、チクチクするような感じから痛みを伴い赤く腫れます(5ミリ程度)。2〜3日後に水疱になり次第にかさぶたになって1〜2週間程度で治ります。かぶれなどと違い、一ヶ所に集まることができるのが特徴です。唾液や接触により感染し、口移しの食べ物、キス(愛のウイルスと呼ばれることも)によって乳幼児や成人に感染することもあり注意が必要です。治療は抗ウイルス剤の内服と軟膏ですが、軽症の場合軟膏のみで治癒します。最近市販薬の軟膏(アクチビア)も発売されました。

③カポジ水痘様発疹症
何か難しい名前ですが、これは単純ヘルペスが皮膚に感染しておこる病気です。特に重症のアトピー性皮膚炎の患者さんにみられ発熱やリンパ節の腫脹を伴い、皮膚の症状も悪化して水疱、膿疱や潰瘍などもみられるようになります。とくに皮膚の病気がないお子さんにはみられませんが、重症となることもあるのでアトピーのお子さんでは知っておきたいことのひとつです。治療は同じ

小児科専門医



川村和久

Profile

【かわむら・かずひさ】仙台市在住
医療法人社団かわむらこどもクリニック院長。日本一の小児科サイトを運営する、言わずと知れた小児科専門医。「お母さん達の心配・不安の解消」を理念に、日々の診察にあたっている。宮城県小児科医会理事。2001年には医師として大変名譽のある日本小児科学会パネリストとして選ばれる。

*2008年4月号「ひよこクラブ」
「小さく生まれた赤ちゃん5人のすくすく成長日記」のコーナーを監修し、疑問や悩みに答えるとともにメッセージを掲載。
<http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

抗ウイルス剤ですが、重症の場合は点滴による治療が必要になることもあります。

比較的珍しい病気の話をしましたが、疑われるような場合は早めの受診を心がけましょう。